

平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典

12月16日（水）、平成27年度草の根・人間の安全保障無償資金協力署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。隈丸優次大使と被供与団体3団体（ポーサット州水資源気象局、プレイベーン州水資源気象局、ポーサット州森林局）の各代表が贈与契約書に署名を行いました。

ポーサット州水資源気象局が実施する案件では、同州バカン郡のアンロン・ルン灌漑施設のうち二次水路（2,100m）及び取水口（一基）を改修するとともに、新しくボックスカルバート（一基）及び分水口（三基）を建設する予定です。この案件の実施により、灌漑受益地の拡大及び農業生産量の増加が図られ、対象地域内5村1,500名の地域住民に裨益することが期待されています。



また、プレイベーン州水資源気象局が実施する案件では、同州プレアスダイ郡のスダウ灌漑施設のうち、二次水路（2,250m）を改修し、新しく取水口（一基）、調整堰（一基）及び分水口（二基）を建設する予定です。この案件の実施により、灌漑受益地の拡大及び農業生産量の増加が図られ、対象地域内3村の1,000名の地域住民に裨益することが期待されています。

さらに、ポーサット州森林局が実施する案件では、同州ビーアル・ベーン郡において違法伐採者を取り締まる森林局職員と警察が駐在するパトロールステーション1棟（約200㎡）を建設することによって、周辺住民の生活保護及び森林保護を通じた安定的な生計の維持向上を図るとともに、対



象地域内の約22,000名の地域住民に裨益することが期待されています。

式典では、隈丸大使がスピーチを行い、被供与団体と地域住民によって施設が適切に維持管理され、今回の支援が末永くカンボジアの草の根レベルの人々に直接裨益するとともに、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願うと結びました。続いて、各被供与団体の代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、地域住民の手によってこれらの施設を維持していくことを約束しました。

